



2020年度 事業・募集要項の変更について

当会が、公益財団法人に認定されてから8年が経ちました。公益財団法人では公益性とコンプライアンスが求められております。（公財）日本教育公務員弘済会としては全国47都道府県のさらなる統一を図るため、これまでよりも各教育振興事業の募集要項、申請書が詳細になり、条件も厳格になります。

2019年度までとはかなり違うと思われますので、皆様方にはご理解のほどよろしくお願ひします。

2020年度の事業と募集要項は2020年4月1日に

当会石川支部のHPにアップするとともに、4月初旬に教職員の皆様に2020年度版の「いしかわ教弘事業のご案内」も配布いたします。

なお、裏面の「事業説明会のご案内」の項目もありますが、2020年度にはご希望の学校・教職員の方にたいして各事業の申請書の書き方や実践論文等についての説明・アドバイスを計画しております。新年度早々にご案内いたしますので、是非ご活用ください。



今年度の助成者は11月1日から12月末日まで、延べ542人となりました。当初予算を大きく超えましたが、なるべく多くの教弘会員様のご希望に沿うために、予備費等から経費を捻出して対応させていただきました。

この2年間の実施状況を踏まえて、2020年度も申請方法等を変更して実施する予定です。

なお、詳細につきましては、2020年度の募集要項（9月発表予定）をご覧いただきたいと存じます。



当会では、県内の高等学校、高等専門学校並びに特別支援学校高等部に在籍する生徒を対象として、「給付奨学金」事業を行っておりります。

今年度の第2次募集へは55校から80名の応募がありました。2月13日の選考委員会で選考します。

さて、今年度の募集状況を踏まえて、2020年度の給付奨学金募集では、これまでのよう1校1名推薦をやめ、推薦条件を見直し1校2名以内での募集（事業総額：1000万円）にしようと検討中です。

なお、当初の募集で事業費に達した場合には、第2次募集はしないことになります。4月に各学校長様に2020年度の募集要項等を送付します。今年度とは違い募集期間等の変更がありますので、ご確認ください。



お忘れではありませんか!!
【入学祝金】の申請

申請は、入学後1年以内です。

入学祝金

教弘会員の子どもが小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に入学したとき。
両親とも教弘会員の場合ともに給付。

図書カード 5,000円 贈呈

2020年度事業説明会のご案内

公益性の観点から、各学校や各教育関係団体（〇〇校長会、教頭会、学校、研究会等）にて弘済会の事業説明を行いたいと思っています。

これまでも、図書贈呈時や助成金贈呈時に各学校の教職員の皆様に当会の事業についてごく簡単な説明をしてきたところです。しかしながら、5分程度では皆様に十分に事業の内容をご理解いただけるような説明ができませんでした。今年度の事業におきましても、説明不足から勘違いや申請書の不備等がございました。また、各学校や教育関係団体様からのご意見・ご要望もお聴きし、当会事業の参考とさせていただきたいとの思いもあります。

そこで、2020年度には、事業説明会をご希望される学校や教育関係団体様に、当会の職員または

参事がお伺いして、詳細な説明ができるべと考えております。ぜひともご考慮いただければ幸いです。詳細につきましては、2020年度の「いしかわ教弘事業のご案内」発行のあと、各学校、各教育関係団体様へご連絡いたします。

なお、事業説明会の参加者や内容については、参加者は管理職のみ・担当者・教職員全員等々、内容は当会の全事業、各事業ごとなどのご希望に沿いたいと思います。

また、教育実践活動助成の申請書作成や教育実践論文のアドバイスもいたしますので、是非ご利用ください。



2020年度開催の教育研究大会助成のご案内

前号の「ハッピー弘済会」でもご案内しましたが、石川県で開催される2020年度開催の教育研究大会助成への申請書が1月末日現在4件しか届いておりません。2020年度予算案作成にかかるごとに、今年度の締切日はすでに終了しましたが、2020年度中の教育研究大会助成を考えておられる団体様がございましたら、弘済会石川支部まで、ご連絡ください。（076-255-1416）

なお、2020年度当初にも申請の受付を行います

が、募集要項の条件等が現在よりも厳しくなります。また、予算が限られていますので、教育研究大会をご予定の団体様はあらかじめ当会までお知らせ下さい。さらに、予算執行（総額80万円）のため、ご相談を受けた団体様が優先されますことをご了解ください。



「江戸からくりの魅力」展を終えて

1月恒例の「江戸からくりの魅力」展が無事終了しました。1月11日～19日までに、100名を超える方にご来場いただき、誠に有難うございます。ご好評いただきました、しいのき迎賓館における当会事業としてのからくり人形の展示実演は、今回をもって完了とさせていただきます。

今回の特別展示では、函館の「からくり人形館」で展示・実演されていた平塚英昭氏作成のからくり人形6体を紹介することができました。この中で特に人気があったのは、なんと『ろくろ首』でした。驚きました。これらのからくり人形を実際に自分で動かしてみて、その面白さに気づかれた方

が沢山いらっしゃいました。単純さに感動するんだと、感じたしだいです。

また、茶運び人形の実演では、特注の『左回りの茶運び人形』を実演しました。ご覧いただけた方はとてもラッキーだと思います。半屋春光氏初期作品の「段返り人形」も今がまさに見頃でしたね。

（I.T）

